

# 城北の進化 「7つの学び」を深化させます



城北高校では「7つの学び」を通して自分を磨き「未来を生き抜く力」を育てる教育を進めます

**学び 1** **ダイバーシティ(多様性)を尊重する教育実践**

お互いの存在を認め合い、支え合い、力を合わせる校風が溢れ、生徒一人ひとりの笑顔が輝いています。全ての生徒が夢を叶え、自己実現に向かうために私たちは生徒の、その保護者の気持ちに寄り添い、言葉を交わし力を合わせて生徒の成長を見守り、そして導く教育を行っています。



**学び 2** **論語の仁と徳「お先にどうぞ」**

城北高校では毎朝論語の音読を行っています。自然と背筋が伸び気持ちよくなり一日が始まります。論語は2500年前から続く人の道の教えです。「自分のことより先ず人のことを思え」という城北魂(スピリッツ)は論語の「仁」の心です。「お先にどうぞ」は実行する心「徳」です。論語の言葉は声に出して読むことで自分の言葉となり生きていく土台となります。人を思いやり勇気を持って行動できるアンパンマンのような「仁者」「勇者」を育てます。



**学び 3** **授業命「ICTで学びの深化を」**

～情報活用能力を向上させAI(人工知能)と共に社会を築く～

これから未来を担う皆さんが、社会人として生きる世の中は、ICT機器を活用して、仕事や生活の中にある課題を解決していくことが当たり前前の社会です。そのなかであってAIがあらゆるシーンに登場してくるでしょう。私たちは、AIと共存し、よりよい社会を築いていく創造力、発想力、対処力が必要となります。本校では、授業の中でICT機器をひとつのツールとして使いこなし、課題を解決していく情報活用能力を育み、仲間と協働し社会参画力を高め、AIと共存できる力を培う機会を提供します。

**学び 4** **本を語るビブリオバトル(知的書評合戦)**

「読解力と想像力」は新しい時代を生き抜くために必要な力です。読書をする中で知識や経験を深め、それをアウトプットするとき「読解力と想像力」は身につきます。城北高校では全校参加型の「ビブリオバトル」に取り組んでいます。全員が本のプレゼンを行い学園祭では勝ち抜いた代表がバトルを行います。豊かな人間性を育むイベントです。



**学び 5** **ディスカッション力・プレゼン力を育む**

城北高校では、授業や学校行事を通して、生徒たちがそれぞれの考えをプレゼンテーション(OUTPUT)する機会があります。一人ひとりの個性を活かしながら、自分の考えを表現、発信するスキルを身に付けることを目標としています。同時に相手の話に傾聴する心を磨き、「発信と傾聴」の力をつけていきます。



**学び 6** **山鹿学(地域活性化プロジェクト)と希望手帳**

「Jミッション～地域活性化プロジェクト～」

本校には5つの学科と3つのコースがあります。それぞれの学科・コースでの特色ある学びを活かして、地元山鹿が更に活性化する取り組みを積極的に行なっています。例年は「Jミッション」というネーミングで地域活性化プロジェクトを実施。スポーツ科学コースによるオリジナルタオルを使った「灯籠エクササイズ」という健康体操や普通科の手作りかたを使って地元の小学生との「山鹿かるた大会」、調理科の地産地消の食材を活かした「おもてなし弁当」、医療福祉科の生徒から高齢者の方々への「ハンドマッサージ」、看護科では血圧測定やなつかしの昔遊びを行いました。多くの山鹿市民の方々へ学校へ来ていただき、本校の生徒といっしょに楽しんでいただきました。

**「希望手帳」**

城北高校では全校生徒が「希望手帳」という手帳を持っています。1日のスケジュールを記録し、1日の自分の活動をわかりやすくしています。また、3年間の学びの記録となるキャリアパスポートの役割もあります。

山鹿市豊前街道竹明かり参加

**学び 7** **SDGs Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)**

城北高校ではSDGs17の目標への様々な活動を行っています。一昨年度より「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの活動に賛同し、城北プロジェクトもスタートさせ、2500枚の子供服を難民の方々へ送らせていただきました。今後も生徒たち自身ができる社会貢献活動として山鹿地域にも広げていく予定です。また、年間100kgものペットボトルキャップ収集を行い推進事業者を通してワクチンに換える活動や城北オリジナルエコバックを使用し、プラスチックゴミ削減に努めています。持続可能な社会の担い手としての視点と行動力を身に付けるべく、各科独自の取り組みも積極的に行っています。

